

第4次沼津市総合計画基本構想（案） パブリックコメント 意見まとめ

○「まちづくりの方針」に関すること

方針	細目	基本施策	意見の要約	意見に対する考え方
1 環境にやさしく、安全・安心を実感できるまち	(1) 環境にやさしいまち	②自然環境の保全と活用	西部地域の葦原に自然公園をつくったらどうか 一部ピオトープとして整備しているということだが、もっと大規模に自然保護区として整備し、市民の憩いの場になるようにすればいいと思う。野鳥や水生生物、昆虫、植物の楽園にすることは、地球温暖化対策、希少動植物の保護に役立ち、沼津市の誇りになると思う。	自然環境の保全と活用については、「1(1)②自然環境の保全と活用」に位置付けをしているところです。 ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます
		③資源循環型のまちづくり	地域の生ごみの処理において、燃焼して処理する事は、CO2削減の上から相反することになる。従って、堆肥化して生ごみのリサイクルを、市全体の活動として取り組んで行くべきである。	基本計画等の策定の参考とさせていただきます。
		⑤公共交通の活性化	公共交通体系の整備を進め、省エネルギーなどにつながる環境にやさしい公共交通の活性化を図る、とあるが、沼津の道路事情ではバスの運行にも支障が多い。狭い道路に大型のバスが通れば車のすれ違いも大変で、渋滞も起こる。 10年間の基本計画では道路の全面的な見直しは無理だが、道路状況をよく調べて、狭い道は一方通行にすべきであると思う。狭い道は一方通行にして、歩道や自転車道を確保し、車から自転車への移行を促したほうが良いかもしれない。 狭い道では交差点で右折用のレーンがないため、右折車がいると直進車がいつまでも待つことになる。交通の実情をよく調べて、車の流れをよくするように対策を立てていただきたい。 どうしても狭い道を走るバスについては小形化も考えてほしい。 最近は街中への自動車乗り入れ規制などを行なう例も少なくない。沼津市に限らないが、将来の高齢化は明らかであり、公共交通の整備は必須である。大胆な交通政策の見直しが必要であると思う。	交通については、環境の観点から「1(1)⑤公共交通の活性化」、生活交通の観点から「1(2)③安全で円滑な道路交通の確保」、そして交流の観点から「3(1)⑤体系的な交通網と交通環境の整備」について、それぞれ位置付けを行なっているものです。 ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。
	(2) 安全、安心で快適に暮らせるまち	①災害に強いまちづくり	公共施設・学校等の耐震化率は県内でもレベルが低いという。狩野川に架かる橋をはじめ、市内の橋の耐震化を進める必要がある。	公共施設の耐震化については、「1(2)①災害に強いまちづくり」に位置付けを行なっております。 ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。
			西部地域、大平地域の水害対策をすすめてほしい。沼川新放水路の早期実現に向けて、県にはたらきかけてほしい。市としてやれることはどんどんやってほしい。	治水対策については「1(2)①災害に強いまちづくり」に位置付けを行なっております。 ご意見につきましては、基本計画等で具体的に示して参ります。
		⑤新たな住宅地の創出と快適な居住環境の整備	若い世代が率先して暮らしたいと思うような、教育文化エリアを備えた住宅地を、設計プランの公募等により整備してはどうか。 住宅供給を促進するとあるが、沼津市では最近中心部に多くマンションが建てられている。一方で、静岡県では住宅の14%以上が空き家で、全国平均を上回っている。今後の方針として、さらなる住宅供給の促進が必要なのか。	住宅地の整備については、「1(2)⑤新たな住宅地の創出と快適な居住環境の整備」に位置付けを行なっております。 ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。 定住人口の確保のための方策の一つとして、今後、幹線道路の供用等により生活利便性が飛躍的に高まる地域においては、新たな住宅地等の活用を図っていく必要があることから、基本構想への位置付けを行なっているものです。
2 元気でいきいきと暮らせるまち	(2) 夢ある人を育てるまち	②子どもの教育の充実	子どもの教育の充実として、経験豊かな高齢者が、総合学習の機会や授業終了後等の場を通じて、子どもの教育現場にもっと参加できるように出来ないか。子どもたちばかりでなく、今後が多くなる高齢者の生きがいにもなりうると思う。 授業終了後などはPTAなどが中心になって企画・運営を行なっても良いのではないか。市・学校・市民の協働が必要だと思う。	子育ての支援には、家庭や個人だけでなく、地域社会での対応が必要不可欠であることから、「(2)夢ある人を育てるまち」の項に、「③社会が支える子育ての推進」という細目を追加しました。 ご指摘のご意見については基本計画策定の参考とさせていただきます。
	(3) 生涯いきいきするまち	①保健・医療の充実	駅南部に総合病院、医療施設の建設がほしい。	ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。

方針	細目	基本施策	意見の要約	意見に対する考え方
3 魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまち	(1) 魅力のあるにぎわいのまち	④ 中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり	<p>駅周辺の市街地は車中心に街区が構成されてるので、人や自転車など店舗に直接関わる購買層の人員のためのスペースが狭小で、街を歩く魅力がない。人を中心に据えた街づくりを文言に入れることを提案する。</p> <p>個人的には大手町交差点から駅までの県道は全面歩道化すべきだと考えるが、とりあえず月に1度歩行者天国の実施など有効な試案だと思う。同時に、自転車の有効活用を提案する。</p>	<p>中心市街地活性化に係る具体的な方策については、基本計画や「沼津市中心市街地活性化基本計画」などにおいて示してまいります。</p>
	(2) 活力あふれるまち	⑤ 農林水産業の振興	<p>ホームページで「一富士二鷹三茄子」のいわれを見たが、大変面白いと思う。</p> <p>家康が一枚の金を払ってまで食べたかったナスとはどんなナスだったのか調べて、そのナスを再現し売り出したら注目されると思う。初夢に見たら縁起がいいとされてきたものだから、イメージもいいと思う。</p> <p>昔は香貫地域は農業が盛んだったとか。農業振興策にもなるし、「家康ナス」でも「三なすび」でもネーミングして地場産業にすれば、沼津市も活性化するのではないかと。せっかくのお宝を活かさない手はないと思う。</p>	<p>本市の有する資源や魅力の活用と発信については、「3(1)①沼津の魅力発信」に、また、第一次産業の振興については、「3(2)⑤農林水産業の振興」においてそれぞれ位置付けを行なっています。</p> <p>ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。</p>
	(3) 静岡県東部地域を牽引するまち	① 都市的サービスの提供	<p>第一次産業は人が暮らしていく上で本来もっとも必要で、大切にしなければならないと思う。第一次産業の振興にあたっては、単に金をばら撒くというのではなく、希望の持てる、効率的な経営などを支援する方策を考えていただきたい。高校の一部を農林・水産高校に改変して、技術だけでなく、経営感覚も身につけた後継者を育てることはできないか。</p>	<p>第一次産業の振興については、「3(2)⑤農林水産業の振興」において位置付けを行なっています。</p> <p>ご意見につきましては、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。</p>
(3) 静岡県東部地域を牽引するまち	① 都市的サービスの提供	<p>東海大学開発工学部が撤退することとなり、市内からさらに若者が減っていくことが危惧されるため、沼津港と沼津駅の間の地域に大学等を誘致するという表現を追加した方が良いと思う。</p>	<p>高等教育機関については、高次都市機能の一つであると認識しており、「3(3)①都市的サービスの提供」に位置づけをしております。</p> <p>ご指摘につきまして、構想案での表現の追加は行ないませんが、基本計画等の策定の参考とさせていただきます。</p>	

○ その他

方針	細目	基本施策	意見の要約	意見に対する考え方
			<p>総合計画は、基本構想、基本計画、推進計画の3つで構成されるとあります。しかしこのわけ方はその後どこにも書かれていない。どこまでが基本構想で、どれが基本計画なのかわからない。</p>	<p>今年度策定するのは総合計画の基本構想の部分です。 なお、基本計画、推進計画は平成22年度に策定を予定しています。</p>
			<p>様々な企画と人材を集め、行政と市民有志各層の参加により、総合計画の策定が行なわれることを望む。</p>	<p>基本構想（案）の策定に当たっては、市民アンケートや市民まちづくり会議、地区まちづくり会議等、様々な機会を通じて市民の皆様の意見を伺いながら、策定を進めてまいりました。</p>
			<p>第3次総合計画の総括はどこかでなされているのか。計画策定の趣旨の最初に、「各種の施策を推進してきました。」とあるが、具体的にどのように実施されてどのような結果であったのか分からない。</p>	<p>第3次総合計画は平成22年度までを計画期間としていることから、現時点では、進行管理を行っている段階であり、総括は22年度に行なっていく予定です。</p>
			<p>多くの施策が並べられているが、具体的なイメージに乏しく、実際に何をしようとしているのか見えない。それほど長くない10年間の計画なので、具体的に何をすべきではないか。総花的に並べるのではなく、今後10年間に何を重点に行なうのかを示してほしい。</p>	<p>基本構想は、地方自治法第2条第4項にもとづき、地域における総合的な行政の運営を図るための構想として策定するもので、市の将来都市像を頂点とした、まちづくりの方針、方針の細目、基本施策からなる施策の体系を示したものです。</p> <p>策定に当たっては、市長の語る会や市民アンケート、市民まちづくり会議、地区まちづくり会議等、様々な機会を通じて市民の皆様の意見を伺いながら、策定を進めてまいりました。</p> <p>なお、具体的な取組内容や重点的な取組事項については22年度に策定を予定している基本計画の中で示してまいります。</p>
			<p>若い者が住みやすい安全・安心のまちづくりを望みます。現在は、市民税が高く、子育て支援の援助も少ない。これでは、近隣の市町に移動してしまうと思う。</p>	<p>本市の抱える課題である定住人口の確保の中でも、特に、子育て家族層の流出を食い止めることは、大きなテーマであると認識しております。具体的な取組みは基本計画等で示してまいります。</p>
			<p>市では核兵器廃絶宣言都市だが、平和都市宣言をしている他市町と姉妹都市提携を結んだらどうだろうか。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
			<p>全国の二十万都市との交流を図る。特に財政面の研究を図るようにする。</p>	<p>特例市相互の情報交換等の場としては「全国特例市市長会」が設置されており、調査・研究、関係機関への要望活動等をおこなっております。</p>
			<p>かつて、市政70周年記念で沼津広報の「タウンエクスプローラー」という企画で、産業、歴史、観光、人物、データ等のテーマのもとに1年間、市民による参画と企画が行なわれ、有意義であった。当時の参加者として復活を提案する。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
			<p>最近サンウェルぬまづがで、時々立ち寄るが、この広い空間は当初の想定どおりに活用されているのか。また、新たに第五中学校に地区センターが出来た。立派な施設だが、各地区にこのような立派なセンターが本当に必要なのか。施設は出来て終わりではなく、毎年の維持費も多額になると思われるが、費用に見合う活用がなされるのか。各施設の費用と活用状況をどこかに公表してほしい。</p>	<p>サンウェル沼津につきましては、市民誰もが健康で、共に助け合いができる健康福祉の活動拠点として活用されております。また、地区センターは、市民が市民自治のまちづくりを進めるための活動施設として、中学校区に組織されているコミュニティを基本単位として整備を進めています。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
			<p>駅周辺総合整備事業は抜本的に見直すべき</p> <p>鉄道高架化事業は中止 貨物駅移転先の地主の合意が得られない事業であり、強制収用などもってのほかである。仮に鉄道高架になっても事業効果は見込めない。借金を次世代に残すだけである。</p> <p>駅北コンベンションセンターは見直し 予定施設の活用が充分には見込めない。国際会議場など特に無意味。多目的ホールの稼働率も低いと思われる。ホテルも赤字になることが目に見えている。</p>	<p>本パブリック・コメントは、第4次沼津市総合計画基本構想に関する意見を求めるもので、現在進められている個別の事業の是非を問うものではありません。</p> <p>駅周辺総合整備事業については、沼津駅周辺における交通渋滞や市街地の分断を解消し、土地の高度利用を図ることで、静岡県東部地域の拠点都市にふさわしい魅力ある中心市街地を形成するために推進をしているものです。</p>
			<p>事業を整理して何が必要か、審査して税金を有効に使ってほしい。</p>	<p>行政改革や予算編成等の取組みにより、簡素で効率的な行政運営に努めております。 ご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
			<p>第4次沼津市総合計画基本構想に基づき具体策を検討する段階では、その計画立案メンバーに、沼津市の将来を担う若い世代を加えるよう提案する。</p>	<p>基本構想の策定においても、市民まちづくり会議に大学生の参加をいただく等、若い世代の意見の反映にも努めてまいりました。 ご意見につきましては、次年度の計画策定の参考とさせていただきます。</p>